***・「******ディープテック・スタートアップ支援基金/国際共同研究開発」公募***

様式第１

***提案書作成上の注意***

1. *提案書の作成にあたっては、公募要領を必ず確認して下さい。提案書の記入内容について注意事項があります。*
2. *別添６提出書類チェック票を提案者自らチェックして下さい。確認後、□欄にレ点を記入し、提案書一式とともにアップロードして下さい。*
3. *提案書は、添付書類を含め、全てＡ４サイズで作成して下さい。*
4. *本ページ及び次ページ以降青字イタリック体で記入されている提案書の注意事項や記載例は削除して記入して下さい。提案書の項目は削除しないで下さい。*
5. *記入事項は簡潔明瞭を旨とし、提案書のボリュームが「１．国際共同研究開発の内容、研究目標・計画」、「２．国際共同研究の必要性、有効性及び実施体制」、「３．実用化・事業化計画、リスク対策」までで20ページ程度になるよう配慮して下さい。*
6. *年月は西暦にて記入して下さい。*
7. *提案書の下中央にページを入れて下さい。*

***（提出にあたって、本ページは削除して下さい）***

[表　紙]

2023年度「ディープテック・スタートアップ支援基金/国際共同研究開発」

（対象国：*○○○*）に対する提案書

国際共同研究開発テーマ

「*○○○○○*の研究開発」

　　2023年*\*\**月*\*\**日

*（提出日）*

*（共同提案（複数の中小企業が提案）の場合は、事業者毎にページを分けて記載。押印不要。）*

企業名　　*○○○○○*

法人番号　*○○○○○*

代表者名　*役職名　○○　○○*

所在地　　*○○県○○市・・・・・*　　（郵便番号*○○○－○○○○*）

*（本公募に係る諸連絡は、以下の連絡先の方にのみに対して行います。）*

連絡先　　所　属*○○○部　△△△課*

　　　　　役職名*○○○○○*

　　　　　氏　名*○○　○○*

　　　　　所在地　*○○県○○市・・・・・・*（郵便番号*○○○－○○○○*）

*(連絡先が所在地と異なる場合は、連絡先所在地を記載)*

　　　　　ＴＥＬ　*△△△△－△△－△△△△（代表）　直通　△△△△*

　　　　　ＦＡＸ　*△△△△－△△－△△△△*

　　　　　e-mail　*\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*\*\**

|  |  |
| --- | --- |
| e-Radにおける研究機関コード（１０桁） | *\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\** |

[要約版]

研究開発助成事業提案書［要約版］

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発プロジェクトの名称 | 2023年度「ディープテック・スタートアップ支援基金/国際共同研究開発」  （対象国：○○○） |
| 国際共同研究開発  テーマ名 | 「*○○○○○*の研究開発」  *（英文名○○○）* |
| １．研究開発の概要 | *数行程度で簡潔に記載して下さい。* |
| ２．研究開発体制 | *共同提案者、委託先、共同研究先があれば、それぞれ記載ください。*  日本側：*○○（株）*  *・△△△△△の研究開発（役割分担を簡潔に記載）*  ：*○○（株）（共同提案者）*  ・*△△△△△の研究開発（役割分担を簡潔に記載）*  ：*○○（株）（委託先）*  ・*△△△△△の研究開発（役割分担を簡潔に記載）*  ：*○○大学（共同研究先）*  ・*△△△△△の研究開発（役割分担を簡潔に記載）*  相手国側：*〇〇Corporation*  ・*△△△△の研究開発（役割分担を簡潔に記載）* |
| ３．研究期間  及び予算規模 | 研究期間：2024年*○*月～202*○*年*○*月まで  予算規模：2024年度：*○○○*百万円  2025年度：*○○○*百万円  2026年度：*○○○*百万円  2027年度：*○○○*百万円  2028年度：*○○○*百万円  総額：*○○○*百万円（内、ＮＥＤＯ負担額*○○○*百万円） |
| ４．連絡先  *（提案書表紙の連絡先と同一のこと）* | 所　属　*○○○部　△△△課*  役職名　*○○○○○*  氏　名　*○○　○○*  所在地　*○○県○○市・・・・・・*（郵便番号*○○○－○○○○*）  ＴＥＬ　*△△△△－△△－△△△△（代表）　直通　△△△△*  ＦＡＸ　*△△△△－△△－△△△△*  e-mail　*\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*\*\** |

*（注）要約版は必ず１枚以内にまとめて下さい。*

[本文]

研究開発プロジェクト名

2023年度「ディープテック・スタートアップ支援基金/国際共同研究開発」（対象国：○○○）

国際共同研究開発テーマ　「*○○○○○*の研究開発」

*（英文名○○○○○○）*

１．国際共同研究開発の内容、研究目標・計画

１－１．国際共同研究開発の内容

（１）背景、全体概要

［背景］

*・具体的に分かりやすく説明して下さい。適宜図表・イメージ等を用いて下さい。*

［全体概要］

*・具体的に分かりやすく説明して下さい。適宜図表・イメージ等を用いて下さい。*

（２）適用技術の概要

*・日本側事業者と相手国側事業者の適用技術を区別して、具体的に分かりやすく説明して下さい。適宜図表・イメージ等を用いて下さい。特に、提案する研究開発内容の新規性及び技術的優位性について具体的に説明して下さい。*

［日本側：*○○（株）*］

*○○○○○○○○○○○○*

［日本側：*○○（株）（共同提案）*］

*○○○○○○○○○○○○*

［日本側：*○○大学（委託先、共同研究先）*］

*○○○○○○○○○○○○*

［相手国側：*〇〇Corporation*］

*○○○○○○○○○○○○*

１－２．研究開発目標・計画

（１）研究開発目標

*・事業終了日が2026年度末を超える事業については、ステージゲート審査（中間評価）（※）を実施しますので、事業全体の目標に対して進捗度が客観的に判断できるマイルストーンとなる中間目標（2026年度末時点）も記述して下さい。業終了日が2026年度末を超えない事業については、最終目標のみ記述して下さい。*

*（※）ステージゲート審査（中間評価）：2026年9月頃にＮＥＤＯが審査するもので、その結果によっては計画の見直し又はその後の事業の中止を行う場合があります。*

最終目標

*・可能な限り具体的かつ定量的な表現により記載して下さい。*

中間目標（2026年度末時点）

*・最終目標に対して進捗度が客観的に判断できるマイルストーンとなる中間目標を記載して下さい。*

（２）研究開発計画

① 研究開発項目、研究開発予算、研究員の年度展開

*・最終目標達成に向けた研究開発項目、研究開発予算、従事人数の年度展開を以下の記載例を参考にしてまとめて下さい。また、相手国側事業者の研究開発項目についても記載下さい（研究開発予算、従事人数の掲載は不要）。*

*（記載例１：事業期間が２年の場合）*

単位：百万円

（　）内は人数

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究開発項目 | 2024年度  *○*月～ | 2025年度 | 2026年度  ～*○*月 | 計 |
| *○○（株）*  *A.△△の研究開発*  *A-1.□□の調査*  *A-2.□□の開発*  *A-3.□□の実用評価*  *〇〇大学（委託）*  *B.△△の研究開発*  *B-1.□□の研究*  *〇〇Corporation*  *C.△△の研究開発*  *C-1.□□の調査*  *C-2.□□の開発* | *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）* | *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）*  1年目  2年目  *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）* | *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）* |  |
| 合　　計 |  |  |  |  |

*（記載例２：事業期間が４年の場合）*

単位：百万円

（　）内は人数

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究開発項目 | 2024年度  *○*月～ | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度  ～*○*月 | 計 |
| *○○（株）*  *A. △△の研究開発*  *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）*  *A-1．□□の調査*  *A-2.○○の開発*  *A-3.□□の実用評価*  *○○大学（委託）*  *B.△△の研究開発*  *\*\*\**  *（\*人）*  *B-1. □□の研究*  *○○Corporation*  *C. △△の研究開発*  *C-1. □□の調査*  *C-2. □□の開発*  *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）* |  | *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）* | *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）* | *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）* | *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）*  *\*\*\**  *（\*人）* |  |
| 合　　計 |  |  |  |  |  |  |

2年目

1年目

3年目

4年目

ステージゲート審査（中間評価）

(2026年9月頃)

*・研究計画スケジュールを表す線の上の（　）内に、その年度に投入される研究員の人数（工数ではなく、従事人数）を記入して下さい。各項目の人数の合計と、合計欄の人数は必ずしも合致していなくても構いません。*

*・研究開発予算はＮＥＤＯおよび提案者の負担分を含めた総額を記載して下さい。ただし、消費税および地方消費税額は含めないで下さい。*

② 研究開発計画の詳細

*・日本側事業者の各年度の研究開発項目の詳細を分かりやすく説明して下さい。相手国側事業者の研究開発計画について説明は不要です。*

*Ａ．△△の研究開発（○○（株））*

*Ａ－１．□□の調査*

*詳細を分かりやすく説明して下さい。*

*Ａ－２.□□の開発*

*詳細を分かりやすく説明して下さい。*

*Ａ－３.□□の実用評価*

*詳細を分かりやすく説明して下さい。*

*Ｂ．△△の研究開発（○○大学（委託））*

*Ｂ－１.□□の研究*

*詳細を分かりやすく説明して下さい。*

③ 予算の概算（総括表）

*・共同提案の場合、事業者毎に記載し、更に総括表を作成して下さい。*

研究開発全期間における助成事業の総費用　　　　 　円（Ａ）と同額

研究開発全期間における助成金交付申請額の総計　　　　円（Ｂ）と同額

（補助率　○/○）

*○○○○○株式会社*

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 （単位：円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 費　　目 | 金　　額 |
| 収  入 | Ⅰ．自己資金 |  |
| Ⅱ．借入金 |  |
| Ⅲ．その他の収入 |  |
| （小計） |  |
| Ⅳ．助成金交付申請額 | ***（Ｂ）*** |
| 合計 | ***（Ａ）*** |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 費　　目 | 金　　額 | 助成金交付申請額 |
| 支  出 | Ⅰ．機械装置等費 |  | ※ |
| 1. 土木・建築工事費 |  |  |
| 2. 機械装置等購入費 |  |
| 3. 保守・改造修理費 |  |
| Ⅱ．労務費 |  | ※ |
| 1. 研究員費 |  |  |
| 2. 補助員費 |  |
| Ⅲ．その他の経費 |  | ※ |
| 1. 消耗品費 |  |  |
| 2. 旅費 |  |
| 3. 外注費 |  |
| 4. 諸経費 |  |
| IV．委託費・共同研究費 |  |  |
| 1. 委託費・共同研究費 |  | ※ |
| 2. 学術機関等に対する  共同研究費 |  | *※* |
| 合計 | ***（Ａ）*** | ***（Ｂ）*** |

*・左記の額の補助率３分の２以内とし、千円未満の端数は、切り捨てること。*

*・「事業期間」における助成事業に要する総費用及び調達額を費目ごとに記載すること。*

*・助成金交付申請額については、千円未満の端数は、切り捨てること。*

*・支出については、別添７による積算内訳を添付すること。*

④ 予算の概算（年度毎の積算表）（別添７）

*・別添７に従って年度毎の積算表を作成して下さい。共同提案の場合、事業者毎に記載して下さい。*

⑤ 相手国側事業者の事業総額

*・相手国側事業者の事業総額を記載して下さい。*

*€　○○○*

２.　国際共同研究の必要性、有効性及び実施体制

２－１. 国際共同研究の必要性、有効性

*・国内企業との研究開発ではなく、相手国側事業者と国際共同研究開発を行う必要性、有効性について説明して下さい。また、相手国側事業者との共同研究開発を行うことの両者にとってのメリット（例：相手国側事業者の強み、シナジー効果によりプロジェクトが生み出す成果の質が向上する、実業化・事用化までの期間の短縮が期待される）等について具体的な根拠を添えて説明して下さい。*

２－２．国際共同研究開発の実施体制

（１）実施体制図（日本及び相手国側）

*・本研究開発の実施体制図について、記載して下さい。共同提案（複数の中小企業が連名で提案）の場合、全ての事業者を含めて役割が分かるよう記入して下さい。*

*（記 載 例）*

「*〇〇〇*の研究開発」実施体制

相手国側

日本側

連携・協力

ＮＥＤＯ

ＮＮＥＤＯ

相手国側機関

　　　　　助成　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　助成・支援

コンソーシアム

アグリーメント

（*共同提案の場合*）

*〇〇*Corporation

・研究実施場所：

*○○センター（場所）*

・実施項目：

*○○評価技術*

*〇〇*Corporation

・研究実施場所：

*○○センター（場所）*

・実施項目：

*○○技術開発*

*○○（株）*

・研究実施場所：

*○○センター（場所）*

・実施項目：

*○○技術開発*

*○○（株）*

・研究実施場所：

*○○センター（場所）*

・実施項目：

*○○評価技術*

*（委託先、共同研究先がある場合）*

*○○大学（場所）*

*△△技術*

*○○（株）（場所）*

*＊＊技術*

*・機関ごとに、研究実施場所、実施項目を記載して下さい。共同提案者、国内の委託先／共同研究先の枠数は実施体制により適宜調整して下さい。*

***・****日本側事業者について、応募要件に係る事項を下記表に記入して下さい。会計監査人の設置については、会社法３３７条により大会社や指名委員会等設置会社などに設置が義務付けられている株式会社の機関の一つです。監査役と異なり、独立的な立場から財務諸表等の監査を行います。*

***・****相手国側事業者について、下記表に記入して下さい。*

【日本側事業者】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 企業名 | 上場  区分 | 大・中小  企業の別 | 設立年  （創設年数） | 従業員数 | 資本金 | 会計  監査人名 |
| *○○○（株）* | *未上場* | *中小企業* | *2015年*  *（８年）* | *100* | *5千万円* | *□□監査法人* |
| *〇〇〇（株）* |  |  |  |  |  |  |

【相手国側事業者】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 企業名 | 従業員数 | 資本金 | 大・中小  企業の別 | 会計  監査人名 |
| *〇〇Corporation* | *20* | *5千万円* | *中小企業* | *□□監査法人* |
| *〇〇Corporation* |  |  |  |  |

*・従業員数、資本金は応募時点を基準として下さい。*

*・会計監査人の設置がない場合は”なし”と記入下さい。*

（２）研究実施場所（日本及び相手国側）

日本側：*○○○○○（株）○○研究所（○○県○○市）*

*○○大学○○（○○県○○市）*

相手国側：*〇〇Corporation　○○research center（○○州○○市等）*

（３）共同実施体制の役割分担

① 相手国側事業者の概要

*・相手国側事業者の名称、所在地、担当者連絡先、主要既存事業、事業実績、経営状況の概要を記載して下さい。また、相手国側事業者の本事業実施ニーズ、実施意欲、参画予定人員、事業遂行能力、資金負担能力等に関し保有する情報を記載して下さい。記載にあたっては、相手国の実施体制に含まれている機関（企業・大学・研究機関等）別にそれぞれ記載して下さい。*

　② 相手国側事業者の選定理由

*・相手国側事業者を選定した理由を記載して下さい（関連分野の研究開発の実績、優秀な研究者等の参加等）。また、相手国側事業者等と過去に共同研究を実施した実績や、取引実績等があれば記載して下さい。*

　③ 相手国側事業者との交渉状況

*・相手国側事業者等とのコンソーシアムアグリーメント（CA）の締結に向けたスケジュールを記載して下さい。（交付決定にあたっては、相手国側企業等との間で締結したCAが必要です。CAの調整は、事業者自ら行い、最終採択決定通知日から原則３ヶ月以内に締結いただきます。なお、３ヶ月以内にCAを締結できない場合は、採択を取り下げる場合もあります。）*

　④ 相手国側事業者との研究開発項目における役割分担

・*日本側と相手国側の研究開発項目における役割分担を明確に記載して下さい。*

*（記載例）*

*Ａ．「○○の研究開発」　（日本側：○○（株））*

*簡潔に説明して下さい。*

*Ｂ．「○○○○○の研究開発」　（日本側：○○大学（委託））*

*簡潔に説明して下さい。*

*Ｃ．「○○○○○の研究開発」　（相手国側：〇〇Corporation）*

*簡潔に説明して下さい。*

　⑤ 相手国側事業者との知財の管理・運営方法

・*相手国側事業者との知財の管理・運営方法の概要を記載して下さい。*

（４）日本側事業者の実施体制及び研究開発実績

① 主任研究者等情報

　　 主任研究者　： 所属・役職*〇〇〇* 氏名　*○○　○○*

　　　　　　　　　　　電話　*\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\**（直通） ＦＡＸ　*\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\**

Email　*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\**

登録研究員　： 所属　*○○○○○部○○課* 氏名　*○○　○○*

　　　　　　　　　　 電話　*\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\**（直通） ＦＡＸ　*\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\**

Email *\*\*\*\*\*\*\*\*\*\**

　　 経理責任者　： 所属　*○○○○○部○○課* 氏名　*○○　○○*

　　　　　　　　　　　電話　*\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\**（直通） ＦＡＸ　*\*\*-\*\*\*\*-\*\*\**

Email　*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\**

*・共同提案の場合、事業者毎に記載して下さい。*

*・主任研究者とは、助成事業の遂行を管理し、各種文書の提出や研究員の従事日誌の確認等を行う助成事業を遂行する際の責任者です。機関ごとに研究者代表を1名選任して下さい。（登録研究員が複数名の場合は、そのうち1名を主任研究者として選任して下さい。）*

*・登録研究員とは、各研究開発項目の責任者又は統括責任者となる研究員です。複数いる場合は併記下さい。また、登録研究員がいない場合は記載不要です。*

*・経理責任者とは、ＮＥＤＯ助成費用の使い方を管理する責任者です。経費発生調書の記載、発生経費に係る証拠書類の整理等を行います。*

② 主任研究者研究経歴書（別添３）

*・主任研究者について、研究経歴書（別添３）に記入し提出して下さい。*

　③ 当該提案の研究開発実績

・*当該研究開発に関し、提案者の本研究開発若しくは本研究開発の円滑な遂行に資する関連研究開発の実績及びその位置づけ等を、研究発表等を引用して記載し、提案内容を遂行できる能力を有していることを、携わる全ての日本側事業者（共同提案の場合はそれぞれの事業者）、委託先ごとにそれぞれ説明して下さい。*

　④ 当該提案に使用する予定の知的財産の保有状況

*・本研究開発を進めるにあたって必要と考えられる主な知的財産の保有状況・使用状況について具体的に記載して下さい。出願番号、出願日、名称、概要を提案機関ごとに記載して下さい。*

（例　示）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 出願番号 | 出願日 | 名称 | 概要 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

　⑤　国内外他社における関連特許の取得状況と相違点または競合優位性

*・国内外他社における関連特許の取得状況を記入して下さい。また、④に記入した特許、ノウハウ等との相違について、権利侵害の可能性を含めて記入して下さい。*

*・国内外他社における関連特許取得状況から競合他社に対する優位性について記入して下さい。*

*・実用化した際に障害となる知財（特許、ライセンスなど）の問題を記入して下さい。また、それをどのように調査したかを記入して下さい。その結果の報告書などがあれば添付して下さい。*

*・知財の問題がない場合は、「知財の問題なし。」と記入して下さい。また、それをどのように調査したかを記入して下さい。その調査結果の報告書などがあれば添付して下さい。*

３．実用化・事業化計画、リスク対策

３－１. 実用化・事業化の実現可能性

（１）実用化・事業化を行う製品・サービス等の概要

*・研究開発の成果が、どのように当該製品サービスに反映されるか簡潔に記載して下さい。*

（２）用途（販売予定先）

*・当該製品・サービスの想定される販売ルート、販売先等を記載して下さい。この販売先以外の分野等で利用できる場合は、それについても記載して下さい。また、自らが実用化・事業化するのではない場合には、どの様な形で製品・サービスが実用化されることを想定しているのかについて記載して下さい。*

（３）実用化・事業化のスケジュール

*・プロジェクト期間終了後の実用化・事業化計画を、生産・販売・市場獲得などの具体的な実用化・事業化の段階に区分し、実用化・事業化の各段階が明瞭となるようなタイムスケジュール（線表）を記述して下さい（時間軸の設定は任意）。なお、プロジェクト実施期間中から実用化・事業化を開始する計画がある場合には、その年度から計画を記述して下さい。*

（４）市場規模（現状及び将来見通し）／売上見通し

*・実用化・事業化を目指す製品・サービスに関する国内と海外の想定される市場規模の現状及び将来見通し（単位：百万円）を示し、それぞれの根拠も記載して下さい。記載にあたっては、提案者のみの市場規模にこだわらず開発した製品の市場規模として捉えて下さい。*

*・また、当該市場における提案者の製品・サービスに関する売上見通し・シェアの推移を示し、その根拠も記載して下さい。記述にあたっては、（３）実用化・事業化のスケジュールに呼応するようにして下さい。*

（５）経済・社会的波及効果

*・実用化・事業化を目指す製品・サービスの普及による経済・社会的波及効果を記載して下さい。*

３－２. 実用化・事業化におけるリスク対策

・*提案内容の事業化・実用化にあたって想定されるリスクを分類し、それに対する対応策を記載して下さい（リスクの例：競合他社の開発動向、技術変革、周辺特許、市場変動等）。*

４．その他

（１）研究開発テーマの技術成熟度（Technology Readiness Level: TRL）

*・助成事業開始と助成事業終了時点に想定される研究開発テーマの技術成熟度について自己評価をして下さい。*

助成事業開始時：TRL*○*

助成事業終了時（想定）：TRL*○*

TRL 1：科学的な基本原理・現象の発見・確認

TRL 2：原理・現象の定式化、応用可能性の確認、応用的な研究

TRL 3：技術コンセプトの確認、要素技術の構想（創案・調査・予備実験・設計など）

TRL 4：各開発要素の製作と性能確認、応用的な開発（要素レベル）

TRL 5：全てを統合した実証システム（試作品）の製作（要素レベル）

TRL 6：実証システム（試作品）の導入環境に近い環境での実証（システムレベル）

TRL 7：製品候補の製作と導入環境での実証（システムレベル）

TRL 8：製品の製作と販売（パイロットライン）

TRL 9：商品化、大量生産

（２）類似の研究開発

*・これまでに実施又は現在応募しているＮＥＤＯを含む公的資金による類似の研究開発がある場合には、その制度、研究開発テーマ及び内容を説明して下さい。*

*・同一の研究課題での公的資金の重複受給は認められませんので、ご留意下さい。また、記載以外の資金受給の事実が判明した場合には、虚偽の提案として審査の打ち切り、交付決定後であっても取り消し等を行うことがあります。*

*・表中のエフォートは、研究者の全仕事時間（※）に対する当該研究の実施に必要とする時間の配分割合（％）を示します。*

*（※）研究者の全仕事時間とは、研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動や管理業務等を含めた実質的な全仕事時間を指します。*

|  |  |
| --- | --- |
| 実施機関の名称 | *〇〇〇〇* |
| 制度の名称 | *○○年度××開発補助金* |
| 採択者名称 | *◇◇（株）* |
| 研究者名（エフォート） | *▲▲部　◎◎◎◎　主任研究員（５０％）、▽▽▽▽▽研究員（７５％）* |
| 対象期間 | *年　月　日　～　　年　月　日* |
| テーマ名 | *～～の開発* |
| 補助金額 | *○○円* |
| 事業の内容 | *事業の内容を説明して下さい。* |
| 本申請との差異 | *本申請との重複が無いことを明確に判断できるように記入して下さい。* |

（３）技術キーワード

*・研究開発の内容を用意に推定できるキーワードを３語程度記載して下さい。*

（４）専門用語の解説

*・提案書に記載された専門用語について、特に必要と思われるものについて、簡単に説明して下さい。*

（５）J-Startup認定

*・提案時点でJ-Startupに認定されている企業は、□にチェック（☑）して下さい。*

　J-Startup認定

　J-Startup地域展開（　　　　　　　　）認定

　　※HOKKAIDO/TOHOKU/CENTRAL/KANSAI/NIIGATA/KYUSHUから記載

（６）交付規程等に関する合意

**「***○○　○○（提案者・代表者名）***」、「***○○　○○（共同提案者・代表者名）***」***（共同提案の場合は全ての者について連名で記載のこと。単独提案の場合は２者目以降は削除下さい。）*は本研究開発テーマ「*○○○*の研究開発」の提案に際し、「2023年度「ディープテック・スタートアップ支援基金/国際共同研究開発」に係る公募要領」に記された事項に異存がないことを確認するとともに、助成金交付申請に際して、ＮＥＤＯから提示されたディープテック・スタートアップ支援基金/国際共同研究開発交付規程に異存がないことを確認した上で提案書を提出します。

また、本提案が採択された際は、提案書類の内容および採択審査結果（採択条件が付された場合は当該採択条件）、本事業の公募要領、ディープテック・スタートアップ支援基金/国際共同研究開発交付規程、交付決定通知書、その他ＮＥＤＯが別に定めるマニュアル等（課題設定型産業技術開発費助成金事務処理マニュアル、その他マニュアル・実施要領等）に従い、事業を遂行し、事業終了後は事後評価・追跡調査へ協力することに異存がないことを確認した上で、提案書を提出します。

***ＮＥＤＯから提示された公募要領、交付規程、本公募関連資料に記載された条件に基づいて交付を提案することに異存がない場合は、上記の文章を記載して下さい。***

*※本公募のホームページに掲載された公募要領、交付規程、本公募関連資料に記載された条件に合意することが助成先選定の要件となります。これらについて疑義がある場合は、その内容を示す文書１部を添付して下さい。*

[会社概要]

*・共同提案（複数の中小企業が連名で提案）の場合は、各項目を併記して下さい。*

（１）申請者

企業名

法人番号　*13桁の番号*

所在地　　　*○○県○○市・・・・・*　　（郵便番号*○○○－○○○○*）

電話番号　*代表電話番号もしくは連絡先電話番号を記入して下さい。*

法人の履歴　　*法人の履歴（沿革）を簡単に記入して下さい。*

（２）設立年月

　　　　　年　　月　*（西暦で記入）*

（３）資本金及び主たる株主

* 資本金　　*00,000*　千円
* （事業開始前）株主（上位５者）

株主 １．*創業者*（持株比率　*○○*％）

２．*□□**投資事業有限責任組合*（持株比率　*○○*％）

３．*△△ 投資事業有限責任組合*（持株比率　*○○*％）

４．*○○投資事業有限責任組合*（持株比率　*○○*％）

５．*××（株）*（持株比率　*○○*％）

* (事業終了後）株主（上位５者）

株主 １．*創業者*（持株比率　*○○*％）

２．*□□**投資事業有限責任組合*（持株比率　*○○*％）

３．*△△**投資事業有限責任組合*（持株比率　*○○*％）

４．*○○投資事業有限責任組合*（持株比率　*○○*％）

５．*××（株）*（持株比率　*○○*％）

※上記株主のうち、法人株主について、以下の表に記入して下さい。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 株主企業名 | 大企業・中小企業区分 | 資本金額  （千円） | 従業員数  （人） | 売上高  （百万円） | 主たる業種 |
| *（株）○○* | *大企業* | *1,000,000* | *1,500* | *200,000* | *製造業* |
| *（有）△△* | *中小企業* | *10,000* | *30* | *100* | *サービス業* |
| *××（株）* | *中小企業* | *200,000* | *300* | *50,000* | *卸売業* |

VC・事業会社からの投資実績・予定

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 出資または融資を受けた日または予定 （年月日） | 名称 | 出資額または融資額（千円） | 取得株数  （出資の場合） | 特記 |
| *2022年5月△日予定* | *××××キャピタル* |  |  |  |
| *2020年4月1日* | *×××キャピタル* |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 合計 |  | *○○*千円 |  |  |

（４）従業員数

　　　　　　人(内訳　経営者：　　人、従業員：　　人、パートタイム：　　人)

（５）会計監査人名

*・会計監査人の設置については、会社法３２７条及び３２８条により大会社や指名委員会等設置会社などに設置が義務付けられている株式会社の機関の一つです。監査役と異なり、独立的な立場から財務諸表等の監査を行います。*

*・なお、大会社、委員会設置会社以外の株式会社も会計監査人を設置することができます。設置されている場合は公認会計士または監査法人名を記載して下さい。会計監査人の設置がない場合は”なし”と記入下さい。*

（６）現在の主要事業内容（主な製品等）

*・現在の事業内容（主な製品等）を記入して下さい。また、過去５年間に市場に出した主要な新事業または新製品をあげ、その売上高を記入して下さい。*

*例： 新事業/新製品名 新事業/新製品の説明 　売上高*

*年度 新製品名１ 　　～～～～～ 　　 ○○○百万円*

*新製品名２ 　　～～～～～ 　　 ○○○百万円*

*年度 新事業１ 　　～～～～～ 　　 ○○○百万円*

*年度 新製品名３ 　　～～～～～ 　　 ○○○百万円*

（７）売上高に対する研究開発費

・*総売上高に対する研究開発費の割合を記入して下さい。*

*○○*％

（８）決算日

　　　　　月　　日